

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グレーシアタワーズ海老名ウエスト	階数	地上25F
建設地	海老名市扇町14番4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	714 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2017年3月6日
敷地面積	4,683 m ²	作成者	鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	1,305 m ²	確認日	2017年3月7日
延床面積	21,639 m ²	確認者	鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ 芝生広場と植栽による豊かな外構計画によるアメニティの創出。 ・ 免震構造の採用や自家発電設備や備蓄倉庫により、災害に強い共同住宅を整備。 ・ インテリアと照明計画が一体となった共用部デザイン。		その他 ・ 海老名市景観条例への適合
Q1 室内環境 ・ 住戸間の遮音性能の確保。 ・ 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4の確保。 ・ 全周バルコニーによる庇効果による日射制御。	Q2 サービス性能 ・ 共用部ではインテリアと照明計画を一体とした計画。 ・ 免震構造の採用により安心・安全な住まいを実現。 ・ 1Gbitのブロードバンドが利用可能な高度情報通信設備対応。	Q3 室外環境(敷地内) ・ 南側への芝生広場と四季を通じて花や葉を楽しめる共用ガーデン。 ・ まちなみ・景観への配慮として変化に富んだ生垣や門扉のデザイン。
LR1 エネルギー ・ 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4の確保。 ・ 高効率設備機器の採用	LR2 資源・マテリアル ・ 省水型の住宅設備を採用。 ・ リサイクル材の使用	LR3 敷地外環境 ・ ライフサイクルCO ₂ を参照値よりも20%以上削減 ・ 風シミュレーションによる風害の抑制

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される